

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都府知事		平成29年9月25日					
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） サントリープロダクツ株式会社 代表取締役社長 伊藤昇 電話 03-3275-7027					
主たる業種	清涼飲料水製造業	細分類番号	1	0	1	1	
事業者の区分	京都府地球温暖化対策条例施行規則	<input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号					
計画期間	平成26年4月から平成29年3月まで						
基本方針	①水のサステナビリティの追求②生物多様性保全への取り組み③イノベーションな3Rによる資源の有効活用④全員参加による低炭素企業への挑戦⑤社会とのコミュニケーション						
計画を推進するための体制	環境委員会の設置と年間計画・基本方針の策定。毎月の予実報告実施。EMSにより、地球温暖化対策に取り組んでいる。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	22,332.9 トン	21,326.1 トン	20,081.3 トン	20,439.6 トン	-7.7 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	22,332.9 トン	21,326.1 トン	20,081.3 トン	20,439.6 トン	-7.7 パーセント	
	実績に対する自己評価	生産数量の増加に伴いエネルギー（蒸気）の使用量が増加し温室効果ガス排出量が増加した。前年比：生産数量109%、都市ガス104%					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	増減率
	工場	事業活動に伴う排出の量 (生産中味量)	89.30	93.70	85.80	80.30	-3.02 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ()					パーセント
	実績に対する自己評価	生産ラインの安定稼働により生産数量が増加（前年比109%）したが、現場での省エネ改善により蒸気使用量の削減（前年比104%）、また照明のLED化により電気使用量の削減（前年比98%）により原単位が良好化した。					
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	備考	
		115.0 パーセント	115.0 パーセント	115.0 パーセント	115.0 パーセント		
具体的な取組及び措置の内容	(26)年度	蒸気ドレン回収設備の延命化。下水道化によるプロワ電力削減。					
	(27)年度	エア漏れ対策と場内照明のLED化による電力量の削減。					
	(28)年度	事業所内全エリアの照明LED化による電力削減。 お茶抽出用の熱回収温水プレート能力アップによる蒸気使用量削減。					
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	シフト勤務者と通勤距離が5km以上の従業員のみマイカー通勤を許可。その他の勤務者は公共機関の利用。					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	以前より、この措置を実施し、平成28年度についても全ての従業員の協力が得られた。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区分	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	地域産木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	工場周辺の美化運動実施。ライトアップ活動の参加。環境方針（ISO14001）活動推進。グリーン購入の推進。						
特記事項	第一計画期間の超過削減量を、第二計画期間の温室効果ガス排出量から次のとおり差し引く。						
	超過削減量	第1年度	第2年度	第3年度			
		トン	トン	トン	トン		
	ウ（ア）代表者の変更 平成29年4月1日 代表取締役社長が、垣見吉彦から伊藤昇に変更。						

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。
 5 「重点的に実施する取組の実施状況」とは、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施した取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。